

令和6年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-01		
施設名	荒川総合スポーツセンター				
所在地	南千住六丁目45番5号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和60年	2,930,000		
	増改築①	令和元年	3,406,709	263,233	965,400
	増改築②				2,178,076
併設施設	南千住野球場				
竣工年月日	昭和60年3月25日			区職員	その他
供用開始年月日	昭和60年6月2日		職員数		60
構造	SRC造		階層	地上4階、地下1階	
面積	敷地面積		6,412.09㎡		
	延床面積		12,638.35㎡		
設置目的・経緯	スポーツ及びレクリエーションの普及・振興を図り、健康で文化的な区民生活の向上に寄与する				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川総合スポーツセンター条例				
駐車場の状況	57台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	212台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態		指定管理	T M 共同事業体		期間	令和2年4月1日 令和7年3月31日	から まで
事業内容		①管理運営（小体育室、トレーニングルーム、温水プール、ホール、管理事務室、キッズルーム、スタジオ、エアリアル場、大体育室、卓球場、第1武道場、第2武道場、弓道場、洋室会議室、和室会議室、第1,2クラブ室） ②教室・講習会（通年制教室、定期制スポーツ教室、1回制教室、キッズルーム教室、自主事業教室等）					
対象者		一般区民他					
運営時間等		運営時間	午前8時～午後10時30分				
		休日	1月1日～1月3日、館内整備等による臨時休館				
施設基本データ等			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込み）
	団体利用者数（人）		90,990	207,404	247,303	223,025	245,000
	個人利用者数（人）		128,133	149,059	190,628	215,909	237,000
	教室受講者数（人）		65,891	104,558	121,907	129,738	132,000
	大体育室稼働率（％）		92	92	93	94	95
	小体育室稼働率（％）		96	91	89	91	93
	教室開催数（回）		4,562	6,848	8,354	8,594	8,766
	教室申込率（％）		65	56	57	60	60
	開館日数（日）		300	327	354	357	357
に指定管理 用係る管理 等費	指定管理料（千円）		105,668	131,868	142,424	201,620	118,235
	指定管理者の支出合計（千円）		262,984	323,955	347,685	293,226	316,912
	指定管理者の人員費（千円）		129,844	144,324	145,432	142,480	147,161
	指定管理者の利用料金収入（千円）		109,892	170,270	181,457	189,037	197,436
備考	・令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の利用制限を実施した。 ・利用件数については、令和3年度から5年度にかけて回復傾向にある。						

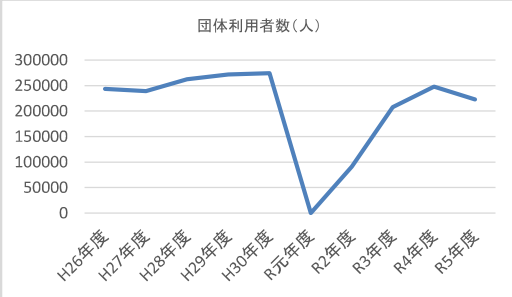
III 財務諸表

		（単位：千円）		
行政コスト計算書	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
	給与関係費	0	0	0
	物件費	143,147	201,895	58,748
	維持補修費	0	0	0
	扶助費	0	0	0
	補助費等	586	3,993	3,407
	減価償却費	177,212	174,220	▲ 2,992
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0
	その他行政費用	0	0	0
	行政費用合計 (b)	320,945	380,108	59,163
	特別費用 (g)	0	0	0
	特別収支差額 (f) - (g) = (h)	0	0	0
貸借対照表	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0
	有形固定資産	4,037,644	3,875,075	▲ 162,569
	土地	1,055,377	1,055,377	0
	建物	6,313,992	6,313,992	0
	建物減価償却累計額	▲ 3,402,980	▲ 3,561,186	▲ 158,206
	工作物等	96,066	96,066	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 24,812	▲ 29,174	▲ 4,362
	無形固定資産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0
	その他の固定資産	15,119	5,436	▲ 9,683
	資産の部合計	4,052,763	3,880,511	▲ 172,252
行政収入	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
	地方税等	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	都支支出金	0	0	0
	分担金及び負担金	0	0	0
	使用料及び手数料	4,448	4,481	33
	その他	0	0	0
	行政収入合計 (a)	4,448	4,481	33
	行政収支差額 (a) - (b) = (c)	▲ 316,497	▲ 375,627	▲ 59,130
	金融収支差額 (d)	▲ 662	▲ 654	8
	通常収支差額 (c) + (d) = (e)	▲ 317,159	▲ 376,281	▲ 59,122
	特別収入 (f)	0	0	0
	当期収支差額 (e) + (f)	▲ 317,159	▲ 376,281	▲ 59,122
負債及び正味財産	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
	流動負債	186,671	186,673	2
	還付未済金	0	0	0
	特別区債	186,671	186,673	2
	賞与引当金	0	0	0
	その他の流動負債	0	0	0
	固定負債	1,354,059	1,167,387	▲ 186,672
	特別区債	1,354,059	1,167,387	▲ 186,672
	退職給与引当金	0	0	0
	その他の固定負債	0	0	0
	負債の部合計	1,540,730	1,354,060	▲ 186,670
	正味財産	2,512,033	2,526,451	14,418
	正味財産の部合計	2,512,033	2,526,451	14,418
	負債及び正味財産の部合計	4,052,763	3,880,511	▲ 172,252
備考	行政費用の物件費は、委託料（指定管理料）が多くを占めている。			

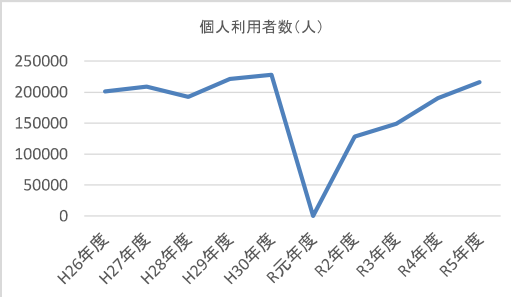
	指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	47	51	54	56.0	
	1㎡当たりコスト(円)	47,122	32,446	26,582	31,482	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	49	45	41.8	48.6	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,996	850	573	668	
	区民1人当たりコスト(円)	2,651	1,819	1,490	1,765	
	受益者負担比率(%)	25	29	35	40.1	
	開館1日当たりコスト(円)	1,896,500	1,198,003	906,624	1,064,728	
備考	令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数、開館日数の減少、大規模改修費用が発生し利用者コスト等が増加した。令和4年度以降は通常どおり営業を行ったため、利用者数、開館日数が増加し利用者コスト等が減少した。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	利用者数	目標値	-	-	-	-	614,000
		実績値	285,014	461,021	559,838	568,672	
施設運営の方向性	● 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()						
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成19年度から指定管理者制度を導入) ○ 無						
利用者・地域のニーズ	○区のスポーツ振興の中心的な施設として、多くの区民にスポーツを楽しむ場を提供している。						
現状・課題	○令和元年度に実施した大規模改修で整備したバリアフリー機能を生かした、障がい者や高齢者を含む多くの区民がスポーツを楽しめる事業等をさらに実施していく必要がある。 ○新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者数はコロナ禍以前の水準に回復傾向にある。						
課題に対する現時点での考え	○パラスポーツ体験会や幅広い世代の方が参加できるイベント等を実施し、多くの区民がスポーツをする機会を創出する。 ○多様なニーズに対応した施設運営や集客向上に繋がる魅力的な事業の実施について指定管理者と協議し、実施していく。						
議会、利用者等からの意見	○平成28年決特 スポーツセンター 指定管理の決算について ○平成29年予特 大規模改修時の代替施設について ○令和元年9月会議 利用料金改定について ○令和2年度決特 混雑時の利用者対応について						



令和元年度は、大規模改修工事による休館のため計上なし。令和5年度の利用者数はコロナ禍以前の水準に回復傾向にある。



令和元年度は、大規模改修工事による休館のため計上なし。令和5年度の利用者数はコロナ禍以前の水準に回復傾向にある。

I 施設の概要

施設コード

S05-03-02

施設名	荒川遊園スポーツハウス			建設費	300,000円
所在地	西尾久八丁目3番1号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成5年	3,070,000			
増改築①					
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	平成5年6月24日			区職員	その他
供用開始年月日	平成5年7月26日		職員数		69人
構造	RC造(一部S造)		階層	地上3階、地下1階	
面積	敷地面積			4,174㎡	
	延床面積			4,493㎡	
設置目的・経緯	広く区民の利用に供し、区民の健康の増進と体力の維持向上を図るとともに、スポーツの振興に寄与する。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川遊園スポーツハウス条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	●エレベーター ●点字ブロック	●トイレ ●スロープ	
駐輪場の状況	45台	対応状況			



管理形態	委託	株式会社日新ウエルネス	期間	令和5年4月1日 令和6年3月31日	から まで	
事業内容	①施設の管理運営（アリーナ、トレーニングルーム、会議室1、2、事務室、温水プール） ②教室運営（通年制水泳教室、通年制スポーツ教室、アリーナ1回制教室等）					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後9時30分				
	休日	年末年始（12月29日から1月3日）、館内整備等による臨時休館				
施設基本データ等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込み）
	団体利用者数（人）	7,799	15,025	18,184	15,484	15,794
	個人利用者数（人）	46,015	53,976	66,845	72,647	74,000
	教室受講者数（人）	33,888	44,916	50,713	52,295	52,800
	アリーナ稼働率（％）	30	38	48	52	53
	会議室稼働率（％）	9	11	12	12	12
	教室開催数（回）	1,487	2,279	2,532	2,563	2,563
	教室申込率（％）	55	53	46	48	49
	開館日数（日）	280	310	355	351	350
指定管理 等 費用 費	委託料（千円）	104,612	92,411	92,848	90,805	92,621
備考	令和2～3年度においては新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ禍前と比較し利用者数が減少したが、令和5年度の個人利用者においては、コロナ禍前の7割程度で推移しており、回復傾向にある。					

III 財務諸表

(単位：千円)

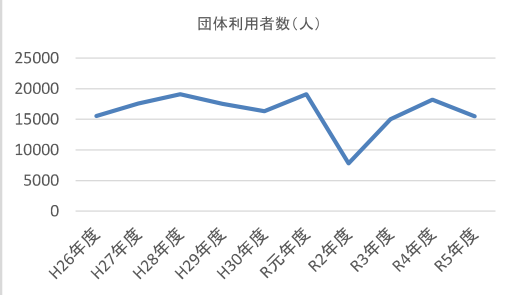
		勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
		物件費	154,705	154,554	▲ 151	国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	147	50	▲ 97	使用料及び手数料	36,735	38,137	1,402
		減価償却費	89,761	85,656	▲ 4,105	その他	1,152	261	▲ 891
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	37,887	38,398	511
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 206,726	▲ 201,862	4,864
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	244,613	240,260	▲ 4,353	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 206,726	▲ 201,862	4,864
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 206,726	▲ 201,862	4,864		
貸借対照表	流動資産	勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
		収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	固定資産	有形固定資産	693,648	607,992	▲ 85,656	賞与引当金	0	0	0
		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
		建物	3,111,239	3,111,239	0	固定負債	0	0	0
		建物減価償却累計額	▲ 2,417,591	▲ 2,503,247	▲ 85,656	特別区債	0	0	0
		工作物等	37,588	37,588	0	退職給与引当金	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	▲ 37,588	▲ 37,588	0	その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
		建設仮勘定	9,761	44,625	34,864	正味財産	703,409	652,617	▲ 50,792
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	703,409	652,617	▲ 50,792
		資産の部合計	703,409	652,617	▲ 50,792	負債及び正味財産の部合計	703,409	652,617	▲ 50,792

備考 行政費用は物件費が6割程を占め、委託料(管理運営等)が多くを占めている。補助費等は、還付金の減である。行政収入のうち、使用料及び手数料は個人使用料の増加によるものであり、その他は自動販売機電気使用料のみである。

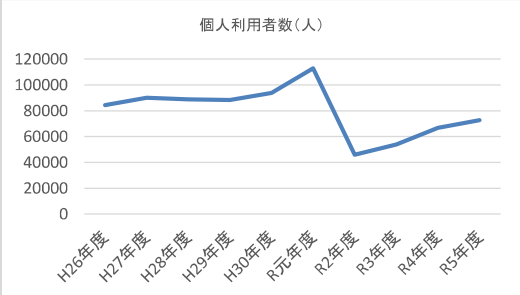
	指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	73	75	78.0	80.7	
	1㎡当たりコスト(円)	57,846	71,793	54,442	53,473	
	受益者負担比率(%)	9.0	10	15.0	15.9	
	開館1日当たりコスト(円)	872,181	1,040,558	689,051	684,501	
	利用者1人当たりコスト(円)	2,964	2,832	1,802	1,711	
	区民1人当たりコスト(円)	1,211	1,498	1,136	1,116	
備考						
令和5年度は、物件費や補助費等の減により、行政費用が減ったため、開館1日当たりコストや利用者1人あたりコスト、区民1人当たりコストが減少している。						

IV 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	☒ 無 ☐ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	利用者数	目標値 実績値	-	-	-	-
施設運営の方向性	☐ 転用・多目的化 ☐ 民営化 ☐ 他施設との統合 ☐ 廃止 ☐ 現状維持 ☒ その他(指定管理者制度の導入検討)					
管理形態の変更の推移	☐ 有 (変更内容:) ☒ 無					
利用者・地域のニーズ	○尾久地区居住者の利用が多く、地域密着型の施設として利用されている。					
現状・課題	○令和4年度より、施設や設備の改修に係る設計に着手している。 ○老朽化部分の対応と、バリアフリー環境を目指し、障がい者や高齢者を含めた多くの区民が利用しやすい施設とする必要がある。 ○効率的・効果的な管理・運営方法等の検討が必要である。					
課題に対する現時点での考え	○利用者からの意見・要望を踏まえて、関係機関と打合せを行いながら、障がい者や高齢者向けのスポーツ教室や親子で楽しめるイベントなど、特色のある施設運営や改修による改善を検討する。 ○指定管理者制度の導入を含めて検討を進める。					
議会、利用者等からの意見	令和3年度予特 改修の予定、改修後の運営方法について 令和4年度9月会議 改修の進め方、改修後の運営方法について 令和4年度決特 北側歩道の傾斜について 令和4年度11月会議 改修の方向性、区の取り組み姿勢について					



令和元年度は、荒川総合スポーツセンター大規模改修工事の影響により利用者数が増加した。令和5年度の利用者数は平成30年度実績と同水準となっている。



令和元年度は、荒川総合スポーツセンター大規模改修工事の影響により利用者数が増加した。令和5年度は、新型コロナウイルスの影響により減少していた利用者数が令和30年度比で約8割まで回復した。

令和6年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-05		
施設名	区民運動場				
所在地	西尾久三丁目14番3号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和54年3月			
	増改築①	平成27年4月	370,000		
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和54年3月			区職員	その他
供用開始年月日	昭和54年3月		職員数	0	1
構造			階層		
面積	敷地面積		7,339㎡		
	延床面積		569㎡		
設置目的・経緯	区民の体位向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署	教育委員会事務局 教育施設課				
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	20台	対応状況	○点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態		委託	下記のとおり		期間	下記のとおり		下記のとおり	から		
						下記のとおり			まで		
事業内容		①管理業務（管理事務所・多目的グラウンド・小広場・駐輪場） ：シルバー人材センター（R5. 4. 1～R6. 3. 31） ②補修業務（多目的グラウンド・小広場・駐輪場）：ワールドビルサービス（R5. 4. 1～R6. 3. 31） ③清掃業務（管理事務所）：新菱ビルサービス（R3. 4. 1～R6. 3. 31）									
対象者		一般区民他									
運営時間等		運営時間	土日祝の9:00～17:00（5月～9月は1時間延長可）								
		休日	平日、年末年始12/29～1/3、土日祝の学校行事及び授業公開日等								
施設基本データ等	多目的グラウンド利用者数	令和2年度	7,194	令和3年度	9,306	令和4年度	10,340	令和5年度	10,318	令和6年度（見込み）	10,400
	小広場利用者数		1,024		1,292		1,566		1,524		1,580
	多目的グラウンド（件数）		327		423		470		469		490
	小広場（件数）		512		646		783		762		780
	稼働率（多目的）		93		95		100		99		100
	稼働率（小広場）		74		74		88		83		90
	開場日数		82		99		116		106		116
	委託料（円）		6,465,025		6,842,818		6,822,339		6,950,085		8,256,552
に係る管理等											
備考	平日は尾久八幡中学校が校庭として利用しているため、土日祝日のみの利用となる。利用件数については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少したが、令和3年度から4年度にかけて回復し、令和5年度も数値を維持している。										

III 財務諸表

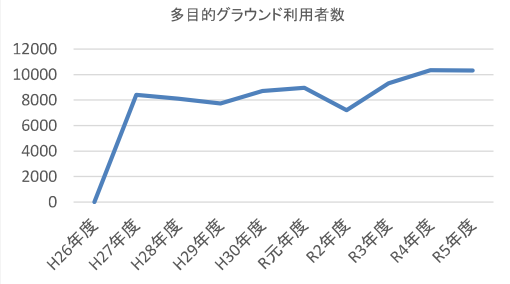
(単位:千円)											
行政コスト計算書	行政費用	勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額		
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0		
		物件費	8,872	7,441	▲ 1,431	国庫支出金	0	0	0		
		維持補修費	139	0	▲ 139	都支支出金	0	0	0		
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0		
		補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	734	712	▲ 22		
		減価償却費	30,940	30,940	0	その他	0	0	0		
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	734	712	▲ 22		
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 39,217	▲ 37,669	1,548		
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0		
		行政費用合計(b)	39,951	38,381	▲ 1,570	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 39,217	▲ 37,669	1,548		
		特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
		特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 39,217	▲ 37,669	1,548		
貸借対照表	固定資産	勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額		
		流動資産				流動負債					
		収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0		
		不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0		
		その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0		
		有形固定資産	1,041,546	1,010,606	▲ 30,940	その他の流動負債	0	0	0		
		土地	709,032	709,032	0	固定負債	0	0	0		
		建物	217,754	217,754	0	特別区債	0	0	0		
		建物減価償却累計額	▲ 58,793	▲ 64,673	▲ 5,880	退職給与引当金	0	0	0		
		工作物等	374,039	374,039	0	その他の固定負債	0	0	0		
		工作物等減価償却累計額	▲ 200,485	▲ 225,545	▲ 25,060	負債の部合計	0	0	0		
		無形固定資産	0	0	0	正味財産	1,041,546	1,010,606	▲ 30,940		
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	1,041,546	1,010,606	▲ 30,940		
		その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	1,041,546	1,010,606	▲ 30,940		
		資産の部合計	1,041,546	1,010,606	▲ 30,940						

令和4年度に区民運動場防球ネット修繕を行っているため、維持補修費がかかっている。行政費用では、物件費が多くかかっており、そのうち、委託料(日常補修業務、清掃業務、管理業務)が大部分を占めている。行政収入は、運動場の使用料収入であり、令和5年度は小広場の利用件数が減少したため微減となっている。

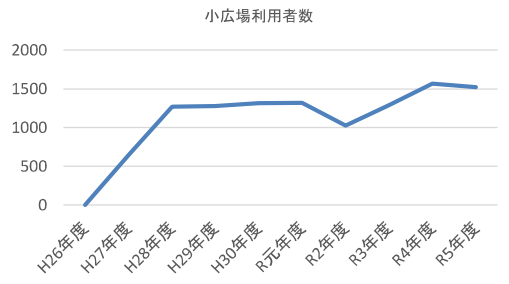
	指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	33	39	44	49.0	
	1㎡当たりコスト(円)	5,166	5,415	5,444	5,230	
	受益者負担比率(%)	2	2	2	1.9	
	開館1日当たりコスト(円)	462,366	401,404	344,405	362,085	
	利用者1件当たりコスト(円)	4,614	3,750	3,356	3,241	
	区民1人当たりコスト(円)	177	185	186	179	
備考						
	各コストとも、令和5年度まで大きな変動なく推移している。1日あたりコストがほかの運動場と比較して高いのは、平日中学校として利用しており、土日祝日のみの稼働であるためである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	利用件数	目標値 実績値	— 839	— 1,069	— 1,253	— 1,231
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	区営スポーツ施設で唯一の人工芝グラウンドであり、雨天等においても利用可能であるなど利用しやすいことから利用者が多い。					
現状・課題	○駐輪場の駐輪可能台数が限られているため、利用者の多い大会開催時などは、対応が必要である。 ○人工芝や防球ネット等の設備について、適切な維持管理や修繕を行う必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○大会等の開催時には、学校のスペースを活用し、駐輪場スペースを確保する。 ○施設・設備について、日常的に維持管理を行っていくとともに、状態を確認し、計画的に修繕を実施していく。					
議会、利用者等からの意見						



令和3年度から令和4年度にかけて増加し、令和5年度は横ばいの利用者数になっている。



令和3年度から令和4年度にかけて増加し、令和5年度についても、コロナ禍前よりも高い水準となっている。

I 施設の概要

施設コード

S05-03-04

施設名	東尾久運動場			
所在地	東尾久七丁目1番1号			
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)	
			国・都	区債
				一般財源
	建築	平成3年5月		
	増改築①	平成30年9月		
	増改築②			
併設施設				
竣工年月日	平成3年5月		区職員	その他
供用開始年月日	平成3年5月	職員数	0	1
構造		階層		
面積	敷地面積			29,195㎡
	延床面積			114㎡
設置目的・経緯	区民の体位向上と健康の増進を図ることを目的とする。			
関連部署				
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例			
駐車場の状況	60台	バリアフリー	○エレベーター	●トイレ
駐輪場の状況	約90台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ



管理形態	管理形態
------	------

管理形態		委託	下記のとおり		期間	下記のとおり	から
						下記のとおり	まで
事業内容		①管理：テニ5面（人工芝）、小広場、スリッパスリ、多目的広場：シルバー人材センター（R5. 4. 1～R6. 3. 31） ②補修：テニ5面（人工芝）、小広場、スリッパスリ、多目的広場：北川商会（R5. 4. 1～R6. 3. 31） ③駐車場管理運営業務：タイムズ24株式会社（R3. 4. 1～R. 6. 31） ④多目的広場トイレ清掃：シルバー人材センター（R5. 4. 1～R6. 3. 31）					
対象者		一般区民他					
運営時間等		運営時間	4～9月9:00～18:00、10～3月9:00～17:00（4～10月土日祝7:00～、11～12月土日祝8:00～）				
		休日	年末年始12/29～1/3				
施設基本データ等			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込み）
	庭球場、多目的広場等利用者数		37,595	49,317	34,868	50,641	50,800
	庭球場、多目的広場等（件数）		9,161	11,343	8,717	11,536	12,000
	稼働率（庭球場）		50	60	60	57	58
	稼働率（多目的）		56	61	75	71	75
	開場日数		305	344	358	360	360
	委託料（円）		26,113,962	25,561,701	23,653,536	24,888,584	31,092,687
指定管理 に係る 費用等							
備考	令和2年度及び令和4年度は庭球場の人工芝の張替工事を実施したことにより、利用件数が減少したが、令和5年度は例年並みとなっている。						

III 財務諸表

(単位：千円)

		勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
		物件費	29,909	31,043	1,134	国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	400	381	▲ 19	都支出金	0	0	0
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	15,569	16,473	904
		減価償却費	8,710	10,833	2,123	その他	90	47	▲ 43
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	15,659	16,520	861
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 30,653	▲ 25,737	4,916
		その他行政費用	7,293	0	▲ 7,293	金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	46,312	42,257	▲ 4,055	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 30,653	▲ 25,737	4,916
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 30,653	▲ 25,737	4,916		
貸借対照表	流動資産	勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
		収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	固定資産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
		有形固定資産	90,134	79,720	▲ 10,414	賞与引当金	0	0	0
		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
		建物	43,776	43,776	0	固定負債	0	0	0
		建物減価償却累計額	▲ 28,264	▲ 28,853	▲ 589	特別区債	0	0	0
		工作物等	139,932	139,932	0	退職給与引当金	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	▲ 65,311	▲ 75,135	▲ 9,824	その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	91,810	80,977	▲ 10,833
	その他の固定資産	1,676	1,257	▲ 419	正味財産の部合計	91,810	80,977	▲ 10,833	
資産の部合計	91,810	80,977	▲ 10,833	負債及び正味財産の部合計	91,810	80,977	▲ 10,833		

行政費用では、物件費が多くかかっており、そのうち委託料(日常管理・補修業務、貸出業務、駐車場の運営業務等)が大部分を占めている。令和4年度のその他行政費用は、庭球場DE面人工芝張り替え工事によるものである。当工事によって利用者が減少したことに伴い、行政収入(使用料)も減少していたが、令和5年度は例年並みに回復した。

I 施設の概要

施設コード

S05-03-03

施設名	南千住野球場				
所在地	南千住六丁目4番6号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和57年7月 5,600,000			
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和57年7月			区職員	その他
供用開始年月日	昭和57年7月		職員数		
構造			階層		
面積	敷地面積			17,415	m ²
	延床面積				m ²
設置目的・経緯	区民の体位向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	57台	バリアフリー 対応状況	○エレベーター	○トイレ	
駐輪場の状況	212台		○点字ブロック	○スロープ	



管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から まで	
事業内容	①体育施設受付及び貸出業務（野球場２面）：ＴＭ共同事業体（Ｒ２．４．１～Ｒ７．３．３１） ②補修管理（野球場２面、外周）：ケルンビルシステム（Ｒ５．４．１～Ｒ６．３．３１）					
対象者	一般区民他、区民以外も可					
運営時間等	運営時間	４～１０月９：００～２０：４５（日・祝は７：００～）、１１～２月９：００～１５：３０、３月９：００～１７：３０				
	休日	年始１／１～１／３				
施設基本データ等	野球場利用者数	令和２年度 15,210	令和３年度 18,252	令和４年度 20,538	令和５年度 22,176	令和６年度（見込み） 22,000
	野球場（件数）	845	1,014	1,141	1,232	1,260
	稼働率	35	37	39	42	45
	開場日数	308	347	362	363	362
	委託料（円）	14,876,982	11,709,275	9,092,820	11,692,065	14,019,748
指定管理 に係る費用等						
備考	利用件数について、スポーツセンターの改修や新型コロナウイルス感染拡大の影響で減少したが、令和３年度から増加傾向にあり、稼働率に関しても引き続き増加傾向にある。					

(単位：千円)

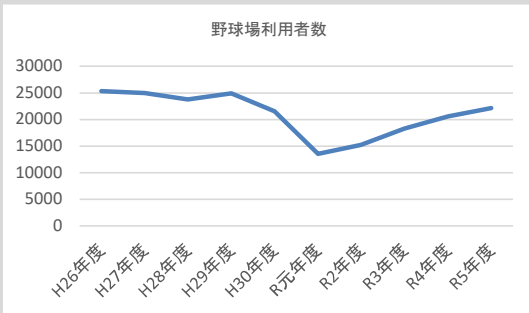
		勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
		物件費	12,248	11,185	▲ 1,063	国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	0	296	296	都支出金	0	0	0
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	2,293	2,384	91
		減価償却費	743	743	0	その他	0	0	0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	2,293	2,384	91
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 10,698	▲ 12,924	▲ 2,226
		その他行政費用	0	3,084	3,084	金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	12,991	15,308	2,317	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 10,698	▲ 12,924	▲ 2,226
		特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 10,698	▲ 12,924	▲ 2,226		
貸借対照表	流動資産	勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
		収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	固定資産	有形固定資産	3,076,650	3,079,534	2,884	賞与引当金	0	0	0
		土地	3,066,735	3,066,735	0	その他の流動負債	0	0	0
		建物	0	0	0	固定負債	0	0	0
		建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0
		工作物等	360,363	363,990	3,627	退職給与引当金	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	▲ 350,448	▲ 351,191	▲ 743	その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	3,076,650	3,079,534	2,884
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	3,076,650	3,079,534	2,884
		資産の部合計	3,076,650	3,079,534	2,884	負債及び正味財産の部合計	3,076,650	3,079,534	2,884

備考
行政費用では、物件費が多くなっており、そのうち委託料(日常補修業務、照明点検等)が大部分を占めている。維持補修費はキュービクルやスアポールの修繕により増となっている。その他行政費用は、A面防球ネット改修工事による工事請負費である。行政収入は、運動場の使用料収入であり、令和5年度は利用件数が増加したため、増加している。

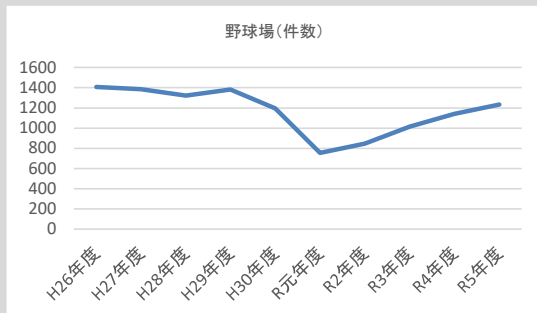
	指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	100	97.0	97	96.5	
	1㎡当たりコスト(円)	857	1,586	746	879	
	受益者負担比率(%)	12	7	18	15.6	
	開館1日当たりコスト(円)	48,481	79,582	35,887	42,171	
	利用者1人当たりコスト(円)	982	1,513	633	690	
	区民1人当たりコスト(円)	70	129	61	71	
備考						
令和3年度の開館1日あたりコストが大きいのはB面防球ネット改修工事を行ったためである。他の野球場と比較して1人当たりにかかるコストが低いのは、平日昼間の稼働率が他と比較して高いためである。						

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有		(計画名:)				
目標指標	指標名・単位		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	利用件数	目標値 実績値	- 845	- 1,014	- 1,141	- 1,232	1,260
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合		○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	社会人野球チームや学生の利用により、平日昼間の利用率が高い。						
現状・課題	○野球場は区道、民間住宅に隣接しているため、防球ネット等の安全対策が必要である。 ○野球場外周の樹木に害虫が発生しやすいため、剪定や消毒などの対策が必要である。						
課題に対する現時点での考え	○施設の安全対策として、剪定や防球ネットのメンテナンスを実施する。						
議会、利用者等からの意見							



令和2年度は、新型コロナウイルスの影響による休場のため減少傾向にあったが、令和3年度から5年度にかけて野球場利用者の数が回復傾向にある。



令和2年度は、新型コロナウイルスの影響による休場のため、減少傾向にあったが、令和3年度から5年度にかけて利用件数が増加している。

I 施設の概要

施設コード

S05-03-08

施設名称	少年運動場				
所在地	足立区小台一丁目22番地先				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和45年11月			
	増改築①	平成28年1月	79,380		
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和45年11月			区職員	その他
供用開始年月日	昭和45年11月		職員数	0	1
構造			階層		
面積	敷地面積		47,647 m ²		
	延床面積		m ²		
設置目的・経緯	区民の体位向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	92台	バリアフリー	○ エレベーター	● トイレ	
駐輪場の状況	約290台	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ	



管理形態		委託	下記のとおり		期間	下記のとおり	から 下記のとおり まで
事業内容		①管理・補修業務(少年野球場7面、サッカー場1面、多目的広場1面、駐車場) :ケルンビルシステム(R5.4.1~R6.3.31) ②駐車場利用者確認業務(駐車場):シルバー人材センター(R5.4.1~R6.3.31)					
対象者		一般区民他					
運営時間等		運営時間	4~9月6:00~18:00、10・3月7:00~17:00、11~2月8:00~16:00				
		休日	年末年始12/29~1/3				
施設基本データ等	野球場、サッカー場等利用者数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(見込み)	
		60,922	86,962	97,486	91,902	98,000	
	野球場、サッカー場等(件数)	3,225	4,595	5,158	4,861	5,000	
	稼働率(野球場)	25	28	31	30	40	
	稼働率(サッカー場)	24	26	29	26	35	
	稼働率(多目的)	30	35	39	35	40	
	開場日数	305	344	358	360	360	
	委託料(円)	105,832,752	35,237,071	34,294,984	35,219,703	33,391,085	
に指定管理 用係る 等 費							
備考	利用件数については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少したが、令和3年度から4年度にかけて増加し、コロナ禍よりも高い水準にある。						

III 財務諸表

(単位：千円)

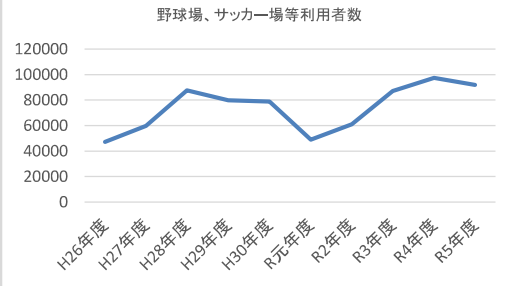
		勘定科目	R4年度	R5年度	差額			勘定科目	R4年度	R5年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0	
		物件費	4,096	34,052	29,956		国庫支出金	0	0	0	
		維持補修費	0	119	119		都支出金	0	0	0	
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0	
		補助費等	0	0	0		使用料及び手数料	955	836	▲ 119	
		減価償却費	918	1,410	492		その他	0	0	0	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	955	836	▲ 119	
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 4,059	▲ 34,745	▲ 30,686	
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0	
		行政費用合計(b)	5,014	35,581	30,567		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 4,059	▲ 34,745	▲ 30,686	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0				
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 4,059	▲ 34,745	▲ 30,686				
貸借対照表	流動資産	勘定科目	R4年度	R5年度	差額	流動負債	勘定科目	R4年度	R5年度	差額	
		収入未済	0	0	0		還付未済金	0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0	
	固定資産	その他の流動資産	0	0	0	固定負債	賞与引当金	0	0	0	
		有形固定資産	32,612	31,202	▲ 1,410		その他の流動負債	0	0	0	
		土地	0	0	0		負債の部合計	0	0	0	
		建物	28,479	28,479	0		特別区債	0	0	0	
		建物減価償却累計額	▲ 3,136	▲ 4,075	▲ 939		退職給与引当金	0	0	0	
		工作物等	74,848	74,848	0		その他の固定負債	0	0	0	
		工作物等減価償却累計額	▲ 67,579	▲ 68,049	▲ 470		正味財産の部合計	32,612	31,202	▲ 1,410	
		無形固定資産	0	0	0		負債及び正味財産の部合計	32,612	31,202	▲ 1,410	
		建設仮勘定	0	0	0						
		その他の固定資産	0	0	0						
		資産の部合計	32,612	31,202	▲ 1,410						

備考	行政費用では、物件費が多くかかっており、そのうち委託料(日常補修業務、駐車場管理運営)が大部分を占めている。令和4年度と5年度の物件費の差額については、新井井橋野球場、少年運動場管理保守業務委託及び屎尿収集運搬委託の按分計数を見直ししたことによるものである。令和5年度は庫ボール用防護マットの修繕を行ったため、維持補修費が増額している。
----	--

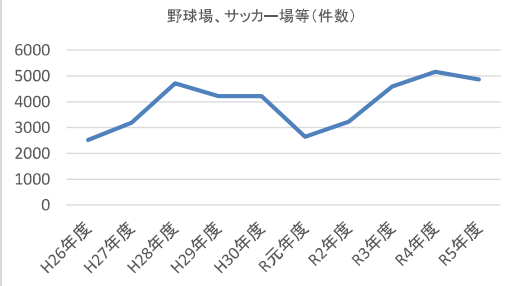
	指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	78	79	68	69.8	
	1㎡当たりコスト(円)	1,594	142	105	747	
	受益者負担比率(%)	1	12	19.0	2.3	
	開館1日当たりコスト(円)	248,993	19,706	14,006	98,836	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,247	78	51	387	
	区民1人当たりコスト(円)	354	32	23	166	
備考						
令和2年度は台風冠水被害の復旧作業を行ったため、各コストが高くなっている。令和5年度は、西新井橋野球場、少年運動場管理保守業務委託及びし尿収集運搬委託の按分計数を見直したことにより、全体的に大幅な増加となっている。						

IV 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有		(計画名:)				
目標指標	指標名・単位		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	利用件数	目標値 実績値	- 3,225	- 4,595	- 5,158	- 4,861	- 5,000
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持		○ 民営化 ○ その他()		○ 他施設との統合 ○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	少年野球 7 面を有し、大会開催等の実施会場として需要が高い。						
現状・課題	○河川敷に設置されていることから、台風等による河川の氾濫の恐れがある場合、被害を最小限に留めるための対策を講じる必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○河川増水時の対応をマニュアル化し、訓練を行うことで、増水時の速やかな対応につなげる。						
議会、利用者等からの意見	○H29年決特 トイレの手洗い場の案内について						



令和5年度の利用者数は、令和4年度から減少したがコロナ禍前の水準を維持している。



令和5年度の利用件数は、令和4年度から減少したがコロナ禍前の水準より高くなっている

I 施設の概要

施設コード

S05-03-06

施設名	荒川遊園運動場			
所在地	西尾久八丁目1番2号			
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)	
			国・都	区債
			一般財源	
	建築	昭和62年4月		
	増改築①	平成5年10月	140,000	
	増改築②			
併設施設				
竣工年月日	平成5年4月		区職員	その他
供用開始年月日	平成5年4月	職員数	0	1
構造		階層		
面積	敷地面積		5,430	m ²
	延床面積			m ²
設置目的・経緯	区民の体位向上と健康の増進を図ることを目的とする。			
関連部署				
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例			
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	○トイレ
駐輪場の状況	無	対応状況	○点字ブロック	○スロープ



管理形態		委託	下記のとおり	期間	下記のとおり		
					下記のとおり	から まで	
事業内容		①受付・開閉場（運動場）：株式会社日新ウエルネス（R5. 4. 1～R6. 3. 31） ②補修業務（運動場）：上園緑地建設（R5. 4. 1～R6. 3. 31） ③樹木剪定（運動場・スポーツハウス）：六創園（R5. 4. 1～R6. 3. 31）					
対象者		一般区民他					
運営時間等		運営時間	9:00～20:00（日・祝は7:00～20:00）				
		休日	年末年始12/29～1/3				
施設基本データ等			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込み）
	運動場利用者数	16,660	18,660	21,200	19,060	20,000	
	運動場（件数）	833	933	1,060	953	1,000	
	稼働率	60	62	64	64	65	
	開場日数	305	321	359	360	346	
	委託料（円）	9,484,553	10,160,699	9,216,064	10,467,783	10,670,673	
に指定管理 に係る費用等							
備考	利用件数については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少したが、令和3年度から4年度にかけて増加し、コロナ禍前と同程度となっている。令和5年度は、令和4年度から微減したが、コロナ禍以前より高い数値を維持している。						

III 財務諸表

(単位：千円)

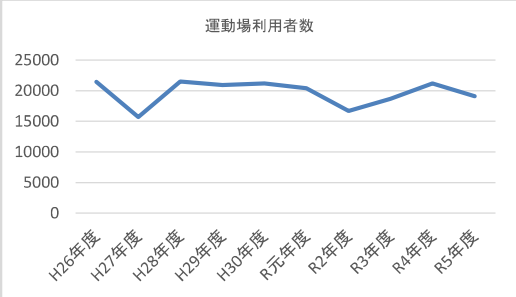
		勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
		物件費	9,216	10,268	1,052	国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	0	248	248	都支出金	0	0	0
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	1,384	1,364	▲ 20
		減価償却費	75	75	0	その他	0	0	0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,384	1,364	▲ 20
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 8,633	▲ 9,227	▲ 594
		その他行政費用	726	0	▲ 726	金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	10,017	10,591	574	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 8,633	▲ 9,227	▲ 594
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 8,633	▲ 9,227	▲ 594		
貸借対照表	流動資産	勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
		収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	固定資産	有形固定資産	3,694	3,619	▲ 75	賞与引当金	0	0	0
		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
		建物	0	0	0	固定負債	0	0	0
		建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0
		工作物等	144,005	144,005	0	退職給与引当金	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	▲ 140,310	▲ 140,386	▲ 76	その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
		建設仮勘定	0	9,900	9,900	正味財産	3,694	13,519	9,825
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	3,694	13,519	9,825
	資産の部合計	3,694	13,519	9,825	負債及び正味財産の部合計	3,694	13,519	9,825	

備考	令和4年度は、試掘工事を行ったため、その他行政費用がかかっている。また、令和5年度に給水管修繕工事を実施したため、維持補修費が増額した。行政費用では、物件費が多くかかっている。そのうち委託料（日常管理・補修業務、外周樹木剪定）が大部分を占めている。
----	--

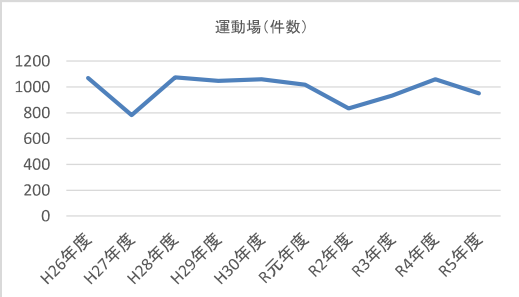
	指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却費(%)	100.0	97	97	97.5	
	1㎡当たりコスト(円)	1,754	2,845	1,845	1,950	
	受益者負担比率(%)	11	7	14	12.9	
	開館1日当たりコスト(円)	31,220	48,134	27,903	29,419	
	利用者1人当たりコスト(円)	572	828	473	556	
	区民1人当たりコスト(円)	44	72	47	49	
備考	令和3年度はダグアウト撤去・新設工事を行ったため各コストが高くなっているが、施設規模が大きくないため、他の施設と比較して低コストで運営ができています。令和5年度は行政費用の増により、各コスト微増となっています。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	利用件数	目標値 実績値	— 833	— 933	— 1,060	— 953
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	野球、サッカー以外にも、ゲートボール、地域のイベントなど様々な活用がなされている。					
現状・課題	○多目的(サッカー・野球・地域のイベント等)での利用が可能であるため、各団体ごとに求めるグラウンド条件が異なる。 ○強風時に砂ぼこりが発生することがある。 ○グラウンドに不陸が生じており、水はけが悪く、水溜りができてしまう。					
課題に対する現時点での考え	○各団体と調整を図るなど運動場の特性を生かした運用を図る。 ○強風が予想される際には、利用者と協力するなどしてこまめに散水を行い、砂ぼこりの発生を防ぐ取組を継続していく。 ○不陸整正をするなど、水はけの改善を図る。					
議会、利用者等からの意見	○平成29年度決特 平日の運動場の開放について					



令和元年度から2年度にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により減少した。令和4年度から令和5年度は利用者数が1割減になっていた。



令和元年度から2年度にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により減少したが、3年度から4年度にかけて上昇傾向にある。令和4年度から令和5年度は、運動場の利用件数が減となった。

I 施設の概要

施設コード

S05-03-07

施設名	西新井橋野球場				
所在地	足立区千住元町36番7号先				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和34年4月			
	増改築①	平成27年5月	101,079		
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和34年4月			区職員	その他
供用開始年月日	昭和34年4月		職員数	0	1
構造			階層		
面積	敷地面積			35,057	m ²
	延床面積				m ²
設置目的・経緯	区民の体位向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	50台	バリアフリー	○エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	約150台	対応状況	○点字ブロック	○スロープ	



管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から	
				下記のとおり	まで	
事業内容	①管理・補修業務(大人野球場5面、駐車場)：ケルンビルシステム (R5. 4. 1～R6. 3. 31)					
	②駐車場利用者確認業務(駐車場)：シルバー人材センター (R5. 4. 1～R6. 3. 31)					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	4～9月6:00～18:00、10・3月7:00～17:00、11～2月8:00～16:00				
	休日	年末年始12/29～1/3				
施設基本データ等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込み）
	野球場利用者数	11,412	20,718	18,936	23,904	24,000
	野球場（件数）	634	1,151	1,052	1,328	1,350
	稼働率	9	12	12	15	15
	開場日数	305	344	359	360	360
	委託料（円）	60,006,533	20,830,081	23,893,902	26,136,282	22,634,675
に指定管理 用等 費						
備考	利用件数については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少したが、令和4年度から5年度にかけて回復傾向にある。					

(単位：千円)

行政コスト計算書				行政収入計算書							
勘定科目			R4年度	R5年度	差額	勘定科目			R4年度	R5年度	差額
行政費用	給与関係費		0	0	0	行政収入	地方税等		0	0	0
	物件費	54,436	27,711	▲ 26,725	国庫支出金			0	0	0	
	維持補修費		0	0	0		都支出金		0	0	0
	扶助費		0	0	0		分担金及び負担金		0	0	0
	補助費等		0	0	0		使用料及び手数料	601	587	▲ 14	
	減価償却費	7,220	7,220	0	その他			0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	行政収入合計(a)		601	587	▲ 14		
	賞与・退職給与引当金繰入額		0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 61,055	▲ 34,344	26,711		
	その他行政費用		0	0	金融収支差額(d)			0	0	0	
	行政費用合計(b)	61,656	34,931	▲ 26,725	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 61,055	▲ 34,344	26,711		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 61,055	▲ 34,344	26,711			

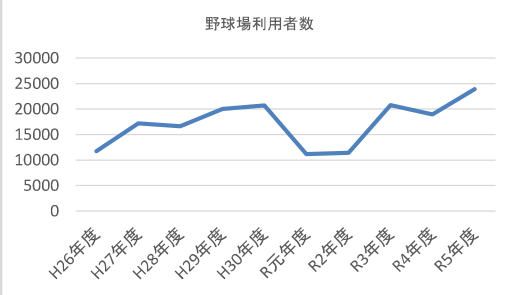
貸借対照表									
勘定科目		R4年度	R5年度	差額	勘定科目		R4年度	R5年度	差額
流動資産	収入未済		0	0	流動負債		0	0	0
	不納欠損引当金		0	0	還付未済金		0	0	0
	その他の流動資産		0	0	特別区債		0	0	0
固定資産	有形固定資産	65,104	57,884	▲ 7,220	賞与引当金		0	0	0
	土地	993	993	0	その他の流動負債		0	0	0
	建物	14,660	14,660	0	固定負債		0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 4,222	▲ 4,670	▲ 448	特別区債		0	0	0
	工作物	101,223	101,223	0	退職給与引当金		0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 47,550	▲ 54,322	▲ 6,772	その他の固定負債		0	0	0
	無形固定資産		0	0	負債の部合計		0	0	0
	建設仮勘定		0	0	正味財産	65,104	57,884	▲ 7,220	
	その他の固定資産		0	0	正味財産の部合計	65,104	57,884	▲ 7,220	
	資産の部合計	65,104	57,884	▲ 7,220	負債及び正味財産の部合計	65,104	57,884	▲ 7,220	

備考 行政費用では、物件費が多くかかっており、そのうち委託料（日常補修業務、駐車場管理運営）が大部分を占めている。令和4年度と5年度の物件費の差額については、西新井橋野球場・少年運動場管理保守業務委託及び屎尿集運搬委託の按分計算を見直したことに由来のものである。行政収入は、運動場の使用料収入であり、令和5年度は微減となっている。

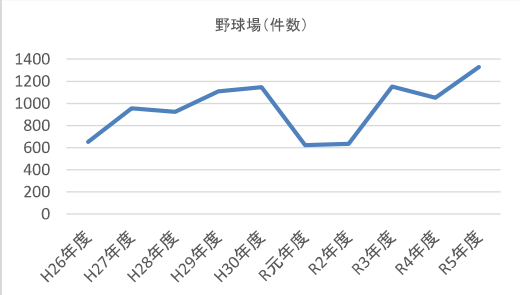
	指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却費(%)	32	38	45	50.9	
	1㎡当たりコスト	2,835	1,653	1,759	996	
	受益者負担比率(%)	0	1	1.0	1.7	
	開館1日当たりコスト(円)	325,915	168,416	171,744	97,031	
	利用者1人当たりコスト(円)	8,710	2,796	3,256	1,461	
	区民1人当たりコスト(円)	463	270	287	163	
備考	開館1日当たり、利用者1人当たりコストが高いのは、大人専用であることや区内から比較的距離が離れているため、特に平日の利用が少ないことによるものである。令和2年度は台風冠水被害の復旧作業を行ったため、各コストが高くなっている。					

IV 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	利用件数	目標値	-	-	-	-	1,350
		実績値	634	1,151	1,052	1,328	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()						
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	大人の軟式野球会場として5面を有し、大会開催等の実施会場として需要が高い。						
現状・課題	○河川敷に設置されていることから、台風等による河川の氾濫の恐れがある場合、被害を最小限に留めるための対策を講じる必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○河川増水時の対応をマニュアル化し、訓練を行うことで、増水時の速やかな対応につなげる。						
議会、利用者等からの意見							



令和元年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少したが、令和5年度はコロナ禍前の水準を超えている。



令和元年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少したが、令和5年度はコロナ禍前の水準を超えている。